

仙台市青葉区台原地区民生委員児童委員協議会

(平成 27 年 7 月)

1. 台原地区の概況

台原地区は、仙台市青葉区の北東部丘陵地に位置し、中小企業が主で、ベッドタウンとしてマンションが多い地域です。高齢化率は 13.9%ですが、年々上昇しています。

当地域には、老人福祉センター、市民センター、2 つの総合病院、4 つのショッピングセンターがあり、また街の中心部に近く、利便性の良い地域です。さらに、台原森林公園や文学館があり、住民の憩いの場となっています。

2. 大震災発生時

震度 6 強の地震の直後、ライフラインが絶たれ、電話は普通、余震におびえながら、雪の舞うなか、高齢者等の安否確認に歩きました。民生委員・児童委員同士の連絡もままならず、すべての委員と見守り対象の方がたの無事が確認できたのは 3 日後のことでした。

地割れ、崖崩れ、道路の陥没などがあり、建物は全壊・半壊が多く、それ以外の建物もほとんどが一部損壊でした。台原小学校、台原中学校に避難所が設置され、3 月末まで継続されました。

当地区の総合病院は救急病院となり、ショッピングセンターには長い列が続きました。ライフラインの復旧には時間がかかり、とても大変でした。

3. 現 在

震災から 4 年以上が経過しました。建物はほとんどが修復されましたが、崖崩れやその危険性のある箇所への復旧工事は、ようやく始まったところです。工事の車が行き交い、通行止めや回り道があり、不自由な思いをしています。

また、津波などで被災された方がたが当地区にも転居してこられたことから、できる限りの見守り活動なども行なっています。

4. その後の民児協活動

震災直後はひとり暮らし高齢者等への生活支援を中心に取り組みましたが、震災から 2 年後、被災者を対象に、青葉区社協、支え合いコンサートあおば、台原地区民児協、台原地区社協が共催し、「台原地域交流コンサート」を開催しました。仙台フィルハーモニー管弦楽団の弦楽四重奏を聴いた後、茶話会を開き、交流を深めました。好評であったことから、その後毎年開催し、本年も 6 月 6 日（土）に開催されました。

今でもやや強い地震が時々あります。被災され、当地区に移ってこられた方がたはもちろんのこと、地区内の高齢者の方がたを、地区社協、町内会、地域包括支援センター等と連携して、見守り、支援していきたいと思っています。

また、避難所運営マニュアルづくりなども大切なことと考えています。